

講演会

自然の仕事で働き続ける魅力と現実 ～野生動物管理×女性



本講演会では、日本における野生動物管理の発展に貢献してきた女性研究者に焦点を当て、彼女が直面した困難やそれをいかに乗り越えてきたのかを通して、自然に関わる仕事への理解を深めるとともに、困難を抱えながらも持続的に働きつづけるための、組織と自分とのかかわりについて考えます。

第一部：日本における野生動物保護管理の普及と体制作り～昭和に育ち、平成に働く

第二部：パネルディスカッション

自然の仕事にはどんなものがある？仕事とプライベートの関係は？
どんな困難さに直面し、どう付き合ったのか？周囲の反応は？

約1時間

講演者：岸本 真弓博士（獣医学）



株式会社野生動物保護管理事務所（Wildlife Management Office）の元関西支社長（獣医学博士）。中型・大型哺乳類の生息調査法に詳しく、獣医師として不動物化技術や動物福祉に配慮した捕獲学を研究。行政から野生動物管理業務を受注し、環境省や地方自治体の制作支援を行うシンクタンクとして活躍。

約45分

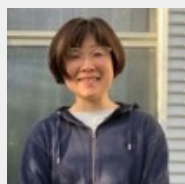
パネリスト（第二部）異なる世代の方に参加いただきます
（オンライン含む）



生物多様性の研究と働き方の多様性
日野貴文（北海道立総合研究機構）



「将来の夢」と現実とのギャップ
相澤あゆみ（環境省東北地方環境事務所）



環境の仕事を家族として支える
石井朱里（生協役員）

開催日

12月6日（土）
14時～16時



オンライン参加の方はこちらから
ご入室ください（事前申込不要）



<https://meet.google.com/wig-ighp-ckd>

会場：人文・社会科学総合研究教育棟W409
（オンライン同時開催）

共催：北海道大学大学院文学研究院応用倫理・応用哲学研究教育センター

本イベントは「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の支援を受けています



問合せ先：上野真由美（文学研究院・准教授）✉ueno-mayumi@let.hokudai.ac.jp